

横浜総合病院を受診された患者さんへ

横浜総合病院(消化器センター)では、以下の研究を実施しております。
研究の対象となる方(または代理人)で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名：新型コロナウイルス感染症禍による大腸癌診療への影響

1. 研究の対象

2014年～2021年8月に手術を施行した大腸癌手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症禍により待機可能手術の制限や延期、コロナ感染対応病床増に伴い一般病床の減少・入院制限など通常疾患診療へ大きな影響があります。ワクチン接種率は徐々に上昇していますが、未だ収束の道程は見えていません。当院は地域医療を担う一般急性期病院で、高齢の患者さんや緊急手術症例が多く、コロナ禍に伴う診療状況への影響が懸念される状況です。

当、横浜総合病院消化器センターはこの状況でも診療レベルを低下せしめることなく治療を行っておりますが、現状での感染症禍において診療内容の評価は必要なことです。2020年4月に初の緊急事態宣言が発令されました。2020年4月までの手術をコロナ前、2020年5月以降をコロナ後とし、2014年～2021年8月に手術を施行した大腸癌449例の短期成績、臨床病理学的諸因子をコロナ前後で比較する後方視的研究を行わせていただきます。研究対象期間は2014年～2021年8月に手術を施行した大腸がん手術を受けていただいた患者さんです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報は患者さんの臨床データ(性別、イニシャル、生年月日、手術時の年齢、病歴、病理組織学的検査所見、等)、手術データ(手術日、手術時間、出血量、輸血の有無、術者)、術後成績(合併症の有無・内容・治療、術後在院期間、等)を2020年4月に初の緊急事態宣言前後で比較検討を行います。

この研究は横浜総合病院消化器センター外科内で行い、資料を利用できる者は消化器外科医員の範囲に限定されます。また患者さん個人を特定しうる情報は匿名化を行い個人の特定を不可能とします。

解析した結果は全国規模の学術集会で発表、もしくは学術雑誌に論文発表する予定です。

4. お問い合わせ先

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者:

〒225-0025

神奈川県横浜市青葉区鉄町2201-5

横浜総合病院 消化器センター

藤井正一

電話:045-902-0001

FAX:045-904-3434

以上